



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 リズム時計工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 7769

URL <https://www.rhythm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平田 博美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 荒井 雄司

(TEL) 048-643-7241

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,949	△4.7	15	△90.8	101	△53.1	71	2.0
2019年3月期第1四半期	7,289	△5.3	165	44.0	215	19.5	70	△6.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △318百万円(-%) 2019年3月期第1四半期 395百万円(188.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	8.66	—
2019年3月期第1四半期	8.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	38,470	27,440	71.3
2019年3月期	39,812	28,007	70.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 27,440百万円 2019年3月期 28,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,800	△3.3	150	△53.3	200	△49.4	—	—	—
通期	31,500	1.6	800	5.1	900	△1.5	500	—	60.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	8,385,093株	2019年3月期	8,385,093株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	123,404株	2019年3月期	123,325株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	8,261,738株	2019年3月期1Q	8,263,010株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日)における世界経済は、米国を中心に総じて緩やかな景気回復が続いたものの、米国の通商問題による影響、中国経済の停滞、英国のEU離脱問題等、先行き不透明な状況が続きました。

一方、わが国経済は、良好な企業収益や雇用情勢の改善を背景に景気は緩やかな回復基調にありますが、通商問題の動向や中国経済の先行き等に留意が必要な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、2019年4月よりスタートした中期経営計画の実現に向け、取り組みを推進しております。売上高につきましては、米中の通商問題の影響による受注減少により、これまで牽引してきた接続端子事業およびプレジジョン事業が停滞し、全体で減収となりました。営業利益においては、時計事業および電子事業は営業損失ながらも横這いでしたが、受注減少の影響を強く受けた接続端子事業、プレジジョン事業の減益が大きく、全体で減益となりました。

以上から業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

		2019年3月期 第1四半期 連結累計期間	2020年3月期 第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	時計事業	2,113	2,077	△35	△1.7%
	接続端子事業	2,303	2,189	△114	△5.0%
	プレジジョン事業	1,612	1,465	△146	△9.1%
	電子事業	1,156	1,131	△24	△2.1%
	その他	103	85	△17	△17.4%
	計	7,289	6,949	△340	△4.7%
営業利益 又は 営業損失 (△)	時計事業	△119	△116	2	—
	接続端子事業	201	127	△73	△36.4%
	プレジジョン事業	195	104	△90	△46.6%
	電子事業	△16	△20	△3	—
	その他	14	11	△3	△21.0%
	調整額	△109	△91	17	—
計	165	15	△150	△90.8%	
経常利益		215	101	△114	△53.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		70	71	1	2.0%

これらをセグメント別に見てみますと次のとおりです。

①時計事業

時計事業におきましては、国内では、インターネット販売やファン等の非クロック分野の受注は前年に比べ増加しておりますが、クロック市場の縮小及び量販店での売上減少により減収となりました。利益面につきましては、費用の減少等により前年に対して改善したものの営業損失となりました。

海外では、米国と中国のインターネット販売の増加により増収となりました。利益面につきましては、中国およびベトナム工場の原価率の悪化等により営業損失となりました。

これらの結果、時計事業全体では減収、営業損失となりました。

②接続端子事業

接続端子事業におきましては、国内では、米中貿易摩擦の影響による全般的な受注減少により減収となりました。利益面につきましては、主力である端子類の受注減少等により減益となりました。

海外では、中国での空調向け部品の受注が好調に推移しましたが、自動車や二輪向け部品が低調に推移し、減収となりました。利益面につきましては、売上減少や設備投資による費用増加等により減益となりました。

これらの結果、接続端子事業全体では減収減益となりました。

③プレジジョン事業

プレジジョン事業におきましては、国内では、プラスチック塗装事業が好調に推移しましたが、工作機械部品および自動車関連部品の受注減少により、減収となりました。利益面につきましては、国内全体の受注減少により減益となりました。

海外では、ベトナムおよび中国での受注減少により減収となりました。利益面につきましては、中国では受注減少の影響で減益となりましたが、ベトナムの合理化の効果等で、海外全体で増益となりました。

これらの結果、プレジジョン事業全体では減収減益となりました。

④電子事業

電子事業におきましては、国内では、自動車関連製品の受注が好調に推移しましたが、情報機器およびEMS製品の受注減少により減収となりました。利益面につきましては、受注減少および原価率の悪化等により、営業損失となりました。

海外では、ベトナムのEMS製品が好調に推移し、増収となりました。利益面につきましては、増収の影響により前年に対して改善は見られるものの、営業損失となりました。

これらの結果、電子事業全体では減収、営業損失となりました。

⑤その他

物流子会社におけるグループ外での受注拡大により増収増益となりましたが、その他の事業が低調に推移し、全体では減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は384億70百万円となり、前連結会計年度末398億12百万円に比べて13億42百万円減少しました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ12億51百万円減少しました。固定資産は、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ91百万円減少しました。

(負債)

負債合計は110億29百万円となり、前連結会計年度末118億5百万円に比べ7億75百万円減少しました。流動負債は、1年内償還予定の社債の増加等により前連結会計年度末に比べ12億88百万円増加しました。固定負債は、社債の減少等により、前連結会計年度末に比べ20億64百万円減少しました。

(純資産)

純資産合計は、274億40百万円となりました。為替換算調整勘定の減少等により前連結会計年度末280億7百万円に比べ5億66百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,128	10,181
受取手形及び売掛金	5,432	4,506
電子記録債権	1,695	1,820
有価証券	1,000	—
たな卸資産	7,441	7,642
その他	526	810
貸倒引当金	△488	△476
流動資産合計	25,736	24,485
固定資産		
有形固定資産	8,431	8,798
無形固定資産		
のれん	1,098	999
その他	398	381
無形固定資産合計	1,497	1,380
投資その他の資産		
投資有価証券	2,387	2,135
その他	1,860	1,769
貸倒引当金	△100	△98
投資その他の資産合計	4,147	3,805
固定資産合計	14,076	13,984
資産合計	39,812	38,470
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,375	3,129
短期借入金	328	332
1年内返済予定の長期借入金	47	46
未払法人税等	257	83
賞与引当金	232	227
役員賞与引当金	10	—
1年内償還予定の社債	—	2,000
その他	1,368	1,090
流動負債合計	5,620	6,908
固定負債		
社債	5,000	3,000
長期借入金	42	29
退職給付に係る負債	723	698
その他	419	392
固定負債合計	6,185	4,121
負債合計	11,805	11,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	7,584	7,584
利益剰余金	6,247	6,071
自己株式	△273	△273
株主資本合計	25,931	25,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480	347
為替換算調整勘定	1,505	1,255
退職給付に係る調整累計額	89	82
その他の包括利益累計額合計	2,075	1,684
純資産合計	28,007	27,440
負債純資産合計	39,812	38,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	7,289	6,949
売上原価	5,480	5,389
売上総利益	1,808	1,560
販売費及び一般管理費	1,643	1,544
営業利益	165	15
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	67	53
受取賃貸料	45	84
信託収入	27	—
その他	14	18
営業外収益合計	157	158
営業外費用		
支払利息	10	10
出向費用	30	28
賃貸費用	13	24
信託費用	11	—
為替差損	36	4
その他	5	3
営業外費用合計	107	72
経常利益	215	101
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	53
特別利益合計	0	53
特別損失		
固定資産処分損	0	0
固定資産売却損	3	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	211	154
法人税、住民税及び事業税	162	80
法人税等調整額	△20	2
法人税等合計	141	82
四半期純利益	70	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	70	71

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	70	71
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△132
為替換算調整勘定	336	△250
退職給付に係る調整額	29	△7
その他の包括利益合計	324	△390
四半期包括利益	395	△318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395	△318

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	接続端子 事業	プレジ ジョン事業	電子事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,113	2,303	1,612	1,156	7,186	103	7,289
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	0	12	6	28	167	196
計	2,122	2,304	1,625	1,162	7,215	270	7,485
セグメント利益又は損 失(△)	△119	201	195	△16	260	14	275

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	260
「その他」の区分の利益	14
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△114
棚卸資産の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	165

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	接続端子 事業	プレジ ジョン事業	電子事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,077	2,189	1,465	1,131	6,864	85	6,949
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	3	18	7	31	156	188
計	2,080	2,192	1,484	1,138	6,895	241	7,137
セグメント利益又は損 失(△)	△116	127	104	△20	95	11	107

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	95
「その他」の区分の利益	11
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△108
棚卸資産の調整額	14
四半期連結損益計算書の営業利益	15

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。